

生物・医学研究、工業分野、その他特殊アプリケーション用
研究用 HistoCore 回転式ミクロトーム

新しい世界を発見

研究を新たなアプローチで



Leica

BIO SYSTEMS

HISTOCORE 研究用ミクロトーム

新しい世界を発見 - 研究を新たなアプローチで

ライカ バイオシステムズは、145 年以上にわたって市場をリードしてきたミクロトームをベースとして、研究および工業分野向けに特化して設計された次世代のミクロトームを提供します。

研究用ミクロトームの新しい製品ラインナップは、回転方向をカスタマイズできる新しい粗送りホイールを搭載、迅速なトリミングを可能にします。オプションの電子冷却デバイス RM CoolClamp を利用することで、連続セクションングの性能が向上し、一貫した厚みの切片が得られます。

幅広いナイフおよび試料ホルダーのラインナップで研究の地平を広げ、生物医学研究から工業分野での応用まで、新たなブレークスルーの発見を可能にします。





テクニカルデータ	HistoCore BIOCUT R	HistoCore MULTICUT R	HistoCore AUTOCUT R	HistoCore NANOCUT R
マイクロームの種類	機械式	半電動式	フル電動式	フル電動式
一般的事項				
定格電圧:	該当せず	100/120/230/240 V AC	100/120/230/240 V AC	100/120/230/240 V AC
定格周波数:	該当せず	50/60 Hz	50/60 Hz	50/60 Hz
寸法および重量				
幅 (ハンドホイールと粗送りホイールを含む) 奥行き (切片屑トレイを含む) 高さ (上部トレイを含まず) W x D x H:	477 mm x 620 mm x 295 mm	477 mm x 620 mm x 295 mm	477 mm x 620 mm x 295 mm	415 mm x 620 mm x 295 mm
重量 (アクセサリを除く):	約 31 kg	約 31 kg	約 40 kg	約 40 kg
マイクローム				
切片厚設定範囲:	1 ~ 60 μ m	0.5 ~ 100 μ m	0.5 ~ 100 μ m	0.25 ~ 50 μ m
トリミング切片厚 設定範囲:	10 μ m、30 μ m	1 ~ 600 μ m	1 ~ 600 μ m	1 ~ 300 μ m
試料送り:	約 24 mm \pm 2 mm	約 24 mm \pm 1 mm	約 24 mm \pm 1 mm	約 24 mm \pm 1 mm
上下動:	70 mm \pm 1 mm			
最大試料サイズ (H x W x D):	標準クランプ: 55 x 50 x 30 mm 大型カセットクランプ: 68 x 48 x 15 mm	標準クランプ: 55 x 50 x 30 mm 大型カセットクランプ: 68 x 48 x 15 mm	標準クランプ: 55 x 50 x 30 mm 大型カセットクランプ: 68 x 48 x 15 mm	標準クランプ: 55 x 50 x 30 mm 大型カセットクランプ: 68 x 48 x 15 mm
独自のフォースバランス システム	あり	あり	あり	あり
試料リトラクション:	約 40 μ m、オフに設定可能	5 ~ 100 μ m 間、5 μ m 刻み、 オフに設定可能	5 ~ 100 μ m 間、5 μ m 刻み、 オフに設定可能	5 ~ 50 μ m 間、5 μ m 刻み オフに設定可能
粗送り/電動セクションニング速度				
低速前進/後退速度	該当せず	300 μ m/s	300 μ m/s	150 μ m/s
高速前進速度		800 μ m/s	800 μ m/s	400 μ m/s
高速後退速度 (後端位置への移動)		1800 μ m/s	1800 μ m/s	900 μ m/s
セクションニング速度:	該当せず (手動)	該当せず (手動)	0 ~ 420 mm/s \pm 10 %	0 ~ 195 mm/s \pm 10%
個別設定が可能な 粗送りホイール	お好みの回転方向を選択可能	お好みの回転方向を選択可能	お好みの回転方向を選択可能	該当せず
試料オリエンテーション、 ゼロポジション付き 水平/垂直回転:	$\pm 8^\circ / \pm 8^\circ$			
切片屑トレイ	標準	標準	標準	標準

HISTOCORE BIO CUT R

スタイルに合わせてカスタマイズされたトリミング

HistoCore BIO CUT R は、回転方向をカスタマイズできる新しい粗送りホイールを搭載、迅速なトリミングを可能にします。この次世代研究用マイクロームは、オプションで電子冷却デバイス RM CoolClamp を使用することができるなど、パラフィン包埋試料の連続セクションングに適した設計がされています。

自在なカットを可能にする柔軟性

お好みの回転方向にカスタマイズできる粗送りホイールを手動で回転させ、試料を前進・後退させることができます。静音リトラクションにより、騒音が低減され、静粛な環境で作業することができ、快適なユーザーエクスペリエンスが得られます。

高品質なパラフィン切片を作製

RM CoolClamp は試料ブロックを長時間低温に保つことができ、パラフィン包埋試料の連続切片を多数とる場合にも、一定した厚みの切片が得られます。



HISTOCORE MULTICUT R

あらゆる研究ニーズに応える一貫したカッティング

HistoCore MULTICUT R は連続セクションング向けに設計されており、オプションの電子冷却デバイス RM CoolClamp を用いて、試料ブロックを長時間低温に保つことで、複数の切片で一貫したスライス厚が得られます。

迅速なトリミング

回転方向をカスタマイズできる新しい粗送りホイールを搭載、迅速なトリミングを可能にします。この粗送りホイールを手動で回転させるか、または自動で回転させるボタンを押すだけで、試料を前進・後退させることができます。

MEMO ポジション記憶機能

メモリー位置をセットすると、その試料ブロックに最適な試料交換位置が記憶され、迅速かつ効率的なトリミングが可能です。同じ種類のカセットを複数連続してトリミングするような場合に役立ちます。

連続セクションングで、オプションの電子冷却デバイス RM CoolClamp を用いると、試料ブロックを低温に保つことができ、均一な厚みの切片を得ることができます。



HISTOCORE AUTOCUT R

専用アクセサリを用いることで、
パラフィン包埋試料から樹脂包埋試料まで、
高品質のセミシンセクションが行えます

お使いのミクロトームは、広範囲な研究に対応できますか？ HistoCore AUTOCUT R を使用すれば、多様な研究アプリケーションにおいて自在に切片作製することができます。パラフィン試料であれ、樹脂包埋された骨やわずか 0.5 μm の薄切であれ、ニーズに合わせてナイフおよび試料ホルダーを容易に選択することができます。セクションングするたびに研究の地平が広がります。

選べる専用アクセサリ

このミクロトームは、お客様の研究ニーズに合わせて柔軟に対応できるよう設計されています。替刃は、厚さ 2 μm のアプリケーション用の TC-65 タングステンカーバイド製ナイフや、厚さ 1 μm のスライス用の再使用可能なタングステンカーバイド製ナイフもお選び頂けます。

検査室の安全性を最大化

HistoCore AUTOCUT R では、電子式自動ブレーキが新たに強化され、試料ブロック交換時の手の負傷の危険を最小限に抑えます。自動セクションング機能を停止させると、直ちに電子ブレーキが作動し、試料がアッパーポジションに戻って止まり、ブレードから離れた安全な位置で保持されます。



HISTOCORE NANOCUT R

精度と多様性のレベルアップで 新たなブレイクスルーを目指します

研究プロジェクトにおいてブレイクスルーを発見すべく、多様な試料の切片作製を行ってられる方には、NANOCUT R が最適のソリューションです。

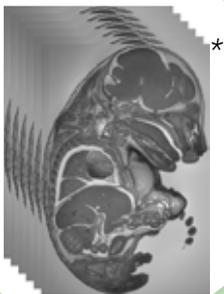
NANOCUT R は、生物医学研究から工業分野での応用に至るまで、幅広い試料を薄切またはカット（断面観察のための面出し等）を行うことができます。

精度と一貫性に優れた セミシンセクショニング

光学顕微鏡、電子顕微鏡観察のための切片を作製できます - 最小 250nm (0.25 μ m、セミシン)。特殊スピンドルと低速調整機能の強化により、セミシンセクショニング時の試料の完全性を維持します。

幅広いアクセサリにより 難しい材料にも挑戦

NANOCUT R は、スチールまたはタングステンカーバイド製使い捨て替刃用ホルダー、再利用可能ナイフ用ホルダー、ガラスおよびダイヤモンドナイフ用ホルダーなど、多様なアクセサリが活用できます。



3D アプリケーション

NANOCUT R に搭載されている 3D モードを使用すると、試料ヘッドが切断面の連続撮影に最適な位置で正確に停止します。

この撮影データをソフトウェアで再構築することで、立体像を再現することができます。*



* 3D再構築アプリケーション事例：
High-Resolution Episcopic Microscopy (HREM) using the
HistoCore NANOCUT R Rotary Microtome by Leica Biosystems
(フランス IGBMC, PHENOMIN, iCS)
詳しくはお問い合わせください。

研究用マイクローム その他の特長

用具をたっぷり置けるベンチスペース

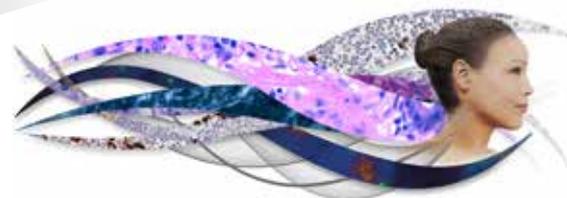
新しいモデルでは上部トレーの面積が 40% 大きくなっており (幅 23.5cm x 長さ 27.5cm。旧RM22シリーズでは幅 21.7cm x 長さ 21.2cm)、各種ブラシ、替刃、その他必要な用具を置くことができます。



精密オリエンテーションシステム

マイクローム上で、「0」ポジションへの復帰がいつでも簡単にできます。この精密オリエンテーションシステムにより、セクションング前に試料を精密に位置決めできます。

独自のフォースバランスシステムにより、各種サイズの試料ホルダーや RM CoolClamp を取り付けることができ、かつ試料ヘッドのバランス不良に起因する負傷/損傷のリスクを最小限に抑えます。



ライカ バイオシステムズは、生検から診断に至るまで包括的な製品ラインナップを取り揃え、ワークフローソリューションにおいてがん診断技術をサポートするグローバルリーダーです。私たちは「いのちを救うための癌診断を向上する」を使命とし、企業文化の中核としています。使い勝手に優れた、一貫して信頼性の高い製品を提供することで、ワークフロー効率および診断信頼性の向上に寄与します。

LeicaBiosystems.com

Copyright © 2019 Leica Biosystems Imaging, Inc. All Rights Reserved. LEICA とライカのロゴは Leica Microsystems IR GmbH の登録商標です。Aperio は米国および一部の国において Leica Biosystems グループ企業の登録商標です。その他のロゴ、製品名、会社名は各所有者の登録商標である場合があります。

ライカ マイクロシステムズ株式会社

本社 〒169-0075 Tel. 03-6758-5690
東京都新宿区高田馬場 1-29-9 Fax.03-5155-4337

大阪セールスオフィス 〒531-0072 Tel. 06-6374-9770
大阪市北区豊崎5-4-9 商業第2ビル10F Fax.06-6374-9772

名古屋セールスオフィス 〒460-0008 Tel. 052-222-3939
名古屋市中区栄2-3-31 CK22キリン広小路ビル5F Fax.052-222-3784

福岡セールスオフィス 〒812-0025 Tel. 092-282-9771
福岡市博多区店屋町8-30 博多フコク生命ビル12F Fax.092-282-9772

<http://www.LeicaBiosystems.com/jp> Email : lmc@LeicaBiosystems.com